



ささえあい

第5回 志布志市 ボランティアまつり 開催

志布志市社会福祉協議会 検索

平成 22 年9月24日発行

第28号

写真

第5回志布志市ボランティアまつりにて
(市健康ふれあいプラザ)

- ・赤い羽根共同募金運動が始まります！
- ・平成22年度 教職員福祉ボランティア育成講座
- ・サマーボランティア (松山町・養護老人ホーム あけぼの園、特別養護老人ホーム やっちく)
(有明町・特別養護老人ホーム 小松の里)
- ・ワークキャンプ (志布志町・特別養護老人ホーム 賀寿園)
- ・ようこそサロンへ ~内之野サロン(松山町)~
- ・まっ、よくいやんせ「ウォーキングの知識について」
- ・地区社協だより
- ・平成22年度 志布志市金婚式のお知らせ
- ・共同募金チャリティゴルフ大会参加者募集！
- ・ふくし川柳募集！

ふくし川柳作品は、
各頁下部に
掲載しております。

平成22年度赤い羽根共同募金運動が始まります

「地域の福祉、みんなで参加」

運動期間

10月1日～12月31日

平成22年度 志布志市の目標額

○一般募金	6,240,000円
○歳末たすけあい募金	1,740,000円
合 計	7,980,000円

赤い羽根で親しまれている『共同募金運動』が今年も10月1日の街頭募金を皮切りに12月31日まで実施されます。

この運動の中で、12月の1か月間は『歳末たすけあい』運動月間です。

昨年は、志布志市内にて、一般募金：6,120,702円、歳末たすけあい募金：1,745,174円もの募金が多くの方々から寄せられました。

皆様方の温かい善意に厚く感謝申し上げます。

昨年、共同募金へ寄せられました皆様方の善意は、今年度に鹿児島県共同募金会より志布志市社会福祉協議会へ配分され、志布志市の福祉の充実・発展のために幅広く活かされております。

本年度も、『赤い羽根共同募金運動』の趣旨をご理解いただきまして、皆様方のご協力をお願い申し上げます。



敬老訪問

敬老をお祝いし、記念品をお贈りしました。

21年度に志布志市において使われた共同募金の活用例の一部を紹介します。

21年度志布志市社協への配分総額
5,621,755円

○敬老訪問(事業費74,760円)
↓志布志市内に居住される白寿(99歳)の方と100歳以上の方へ長寿をお祝いして、記念品をお贈りしました。

○高齢者ふれあいサロンの支援(事業費92,794円)
↓高齢者の方々の語らいの場、交流の場である高齢者ふれあいサロンの活動を支援しています。平成22年8月末現在、志布志市には34か所(志布志町11、有明町9、松山町14)のサロンがあります。



教職員ボランティア育成講座

救急法の講座では実践的なものまで指導を受けました。

○地区社会福祉協議会への活動費助成(事業費1,050,000円)
小地域で福祉活動を展開する地区社会福祉協議会の活動費助成を行っています。計21地区(志布志町11、有明町7、松山町3)。

○ボランティア団体の活動費助成(事業費300,000円)
志布志市内にて活動を行うボランティア団体へ審査の上、活動費助成を行いました。21年度は13団体(志布志町5、有明町2、松山町6)へ助成を行っています。

○教職員ボランティア育成講座(事業費21,307円)
学校の先生を対象に救急法や非常食炊き出し、レクリエーション等の講座を開催し、多数の先生方が受講しました。

赤い羽根共同募金はこんなことに使われています！(21年度の活用例)

第5回 志布志市ボランティアまつり開催！

～福祉ボランティアのまちづくりを目指して～

残暑厳しい8月29日(日)、第5回志布志市ボランティアまつりが志布志市健康ふれあいプラザで約800名の参加のもと賑やかに開催されました。

豊かな心をもって共に生きる力を育てなければ、福祉社会を築くことは不可能であることを私達は感じております。その豊かな心をはぐくみ、共に生きる力を育てる活動がボランティア活動であります。

近年、ボランティア活動への関心が高まる中、人々のボランティア活動に関する意識や価値観が大きく変化してきており、それと同時にボランティア活動に対する期待も高まっ



詳しく活動発表する宇都中生徒



高度なマジックを数々披露！

てきています。このように、ボランティア活動は、みんなが一緒に元気に楽しく幸せに暮らしていくため、お互いが知恵を出し合い励まし合いながら自分に出来ることで「いつでもどこでもだれでも気軽に楽しく」参加できる活動でもあります。そこで、このボランティアまつりを契機に市民のボランティアに対する理解と関心を深め、積極的な参加を促すため開催するものです。

開会行事では、志布志市社会福祉協議会竹井道徳会長の挨拶のあと、活動事例発表として平成21年度市社協指定ボランティア協力校の宇都中学校の生徒達が活動事例発表を分か

りやすく、報告してくれました。次のアトラクションでは、志布志中学校屋田伸仁校長によります、マジックショーで、参加していた児童



白バイ乗ってるよ。カッコイデしょ！

その後、会場の屋内と屋外のそれぞれの福祉施設特産品販売やチャリティバザー、健康相談、無料コーナー、を舞台にあげての、参加型マジックの披露や高度なマジックなどに、笑い有り拍手有り、参加者からはたくさん笑顔が見られました。



ヨーヨー釣りも楽しかった～♪



『ボランティアハート』を大切に！

キーホルダー作り、おもちゃ病院、昔懐かしい駄菓子屋さん、献血車、収集ボランティア、消防はしご車やパトカー&白バイなど、各ブースそれぞれで行列が出来るほど、大盛況でした。

閉会行事では、市民により分かり易くより身近に『ボランティア』を知ってもらおうと社協職員による寸劇、ボランティアレンジャー【ボランティアレンジャー】を披露しました。

観客席の最前列は、興味津々な子供達でいっぱいでした。

そして、閉会の挨拶をボランティアセンター運営委員会馬場興市委員長がのべたあと、参加者が待ちに待った恒例のお楽しみ抽選会で盛り上がり、大会も盛会のうちに終了しました。



輪多市とは「多くのボランティアの輪と志布志市に広めましょう」の意味です。

教職員ボランティア講座



気づき 考え 実行する

意見交換後の体験は、高齢者や障がい者の立場を理解出来て貴重な体験学習の場となったと思います。

講義として、蓬原小の大濱先生による事例発表から始まり、日本赤十字社鹿児島支部からの「青少年赤十字奉仕団」についての講話や、溝口千恵子氏によるレクリエーションの実技と盛沢山でした。中でも今回は、「障がい者」についてグループワークの後に車イスと高齢者疑似体験を時間をかけて行いました。

7月28日(水)、有明農業歴史資料館で、市内の小中学校の教職員を対象としたボランティア講座を21名の先生の参加のもと開催しました。
この講座は学校での、ボランティア活動や様々な福祉活動の啓発に役立てて頂けるように教職員を対象に毎年開催し5回目を数えます。



お風呂は気持ちよかったですか〜。

最初はお年寄りとの会話にぎこちなさを感じましたが、時間の経過とともに打ち解けて笑顔で楽しそうに会話している姿がとても微笑ましく、生徒達の今後が楽しみです。

松山中学校生徒10名が参加し、松山町にある「養護老人ホームあけぼの園」で7月29日と30日、「特別養護老人ホームやちく」で8月3日と、4日に、福祉体験学習を実施しました。今回の参加生徒は2日続けてあけぼの園で体験したり、2施設をそれぞれ体験する生徒もいました。

サマーボランティア (松山町)

志布志市社会福祉協議会では、7月から8月のサマーボランティア体験月間に、中学生と高校生を対象に二泊二日の「ワークキャンプ」と二日福祉体験学習「サマーボランティア」を実施しています。



卓球バレーの準備運動「イチ・ニッ・サン」

参加された生徒は最初は、心配と不安でいっぱいの様子でしたが、お年寄りとの交流を通して、笑顔が見られ、この体験学習で福祉現場への理解ができ、得るものも多かったのではないかと思います。これから多数参加していただき、生徒の皆さんにこの活動をを通して少しでも福祉の大切さを伝えられたら、幸いです。

有明中学校生徒1名と宇都中学校生徒1名の合計2名の参加のサマーボランティアで特別養護老人ホーム小松の里で8月3日に福祉体験学習を実施しました。
渡定園長の説明を受けた後、老人ホームで車椅子移動介助等の体験をして、午後は、デイサービスで一緒にレクリエーションをして、交流を深めました。

サマーボランティア (有明町)



美味しいですか。ちゃんと食べましょうね。

午後からは、早々に学んだ事を実践してもらうため、特別養護老人ホーム賀寿園に移動して活動をしてもらいました。夕食の配膳、食事介助などを体験しながら入園者との会話はずんできました。ホームに二泊し、2日目は、少し慣れた様子で、「緊張もとれた」と話していました。今回の体験が、初めての高校生もいましたが、この経験を生かし、将来への進路に役立てて頂ければ幸いです。

8月6日・7日の1泊2日、高校生13名、小学校教諭2名の参加で「ワークキャンプ」福祉体験学習を行いました。
施設での活動に入る前に、午前中は認知症について、理解を深めて頂くために、「認知症サポーター養成講座」や、車いすと高齢者疑似体験をしました。

ワークキャンプ (志布志町)

シリーズ

ようこそサロンのへ

内之野サロン(松山町)

このシリーズでは、志布志市内の「ふれあい・いきいきサロン」を市民編集員・有馬ケイ子さんの取材で紹介しします。

今回は8月の集いに参加した「内之野地区(松山町)のサロン」の紹介です。

大きな杉の木に守られるように建っている、古いけど懐かしい雰囲気をもつ公民館でサロンは月1回開かれ、5年位続いているサロンです。

参加者は誘い合い、車で参加が多く、前日から連絡を取り合い、会うのを楽しみにしている様子でした。教育委員会から担当者も参加され、参加者はボランティアを含めて17名と他地区のサロンとは異なる経緯もありました。

玄関までの急な坂道を踏みしめながら登ってこられ「杖をつかってやっとかつと歩いてきた」と、大きな息をし、話の輪に入りひと月のお互いの話をしたり、お休みの人の情報を紹介するなど会話を楽しんでおられました。どの方も「サロンに参加し、人に会うのが楽しい、話ができるのがいい」といわれ、開催日を楽しみにされています。



笑いが絶えなかった『身体ほぐしの体操』

ました。今回は、都城から健康体操の講師を迎え、話と実技でした。笑いながら身体を動かし、隣の人とのスキンシップも楽しみました。何よりも心の底から笑うということは何回も体験でき、参加者は大満足気でした。終了後、お茶と手作りの漬物を頬張りながら話に花が咲きました。チマ(ムササビ)がサロンにさいつにきた話や、ボーボー(トンボ)の話には大いに沸いた自然豊かなサロン会場でした。いつまでも元気でサロンを楽しみに参加してほしいなと思いました。ありがとうございました。週に2回だけなのか、週2回もなのか移動販売車も来るという地区でもあり、地区に密着したサロンなのかなとまたまた考えさせられ、これが地域で継続していく力をつけていくことなのかとも思いました。

ちよつと二息のコーナー

まよへくいせ

今回の特集 『ヘルス・ウォーキング』

今回は、ウォーキングについてご紹介いたします。

ウォーキングの特徴は、体内に酸素を取り入れながら運動する有酸素運動です。脂肪燃焼から・美容への効果。さらには骨の強化、内臓の機能向上、記憶アップなどさまざまな効果が期待できます。日常のストレスから来る不調も改善されます。そして、ウォーキングの良い点は、とても気持ちが良いにつきます。頭がすっきりして、良いアイデアが浮かんで来るので、重宝しています。ウォーキングをするにも正しいフォームというものがありません。蟹股歩きや、足を引きずるような悪い歩き方をしていると、疲れやすくなったり怪我の原因にもなります。また、体がゆがんで来ることもありますので、なるべく姿勢は正しく行ってください。とは言ってもあまり堅苦しくは考えなくて、基本はリラックスして楽しく！

一定の高さに安定させます。疲れてくると腰が落ちてきますが、なるべく維持するように気をつけてください。★足・ひざについて足はかかとから着地し、後方につま先でけり出すように歩きます。ひざはなるべく伸ばし、腰から前に出すようなイメージで歩きます。モデルの人の歩き方を見るとひざの裏が伸びているのが良く分かります。★歩幅について歩幅はなるべく広く取ります。目安としては、「身長」-100=「適正歩幅」といわれています。この数値にあまりとらわれずに、普通の歩幅よりちよつと広めを心がけると良いと思います。最初慣れるまで時間がかかると思いますが、正しい姿勢で歩くと段々疲れにくくなってきますので、リラックスを忘れずに訓練してみてください。

★靴について

足の幅やくるぶし、土踏まずにフィットしているか、足囲に対して、圧迫や余分なアソビがないかを確かめてください。面倒くさいからといって、かかとをぶして歩かないでください。

★指先に余裕を

つま先部分の余裕が1センチ位ある靴を選ぶようにしましょう。余裕がないと、歩いているうちに圧迫されてきます。余裕がない靴を履くと血行が悪くなっているといふことなのでしよつ。

このコーナーでは、生活に役立つ様々な情報を取り上げていきます。知りたい情報・質問等ありましたら、社協各支所までお問い合わせ下さい。

地区社協だより

小地域で福祉活動を展開する
地区社会福祉協議会を紹介します。

東区地区

社会福祉協議会

(志布志町)

- ・人口総数 3,686名
- ・65歳以上の人口 976名
- ・高齢化率 26.5%

(平成22年4月1日現在)

私たち東区地区社協は、大人から子どもまで参加できる活動を通して、生き生きと暮らせる地域づくりを目指しています。

「ふれあいの集い」

毎年楽しみにしている行事に「ふれあいの集い」があります。以前からお馴染みの「一人くらしの集い」のことです。呼び名が変わりイメージ一新。一人くらしや外出する機会の少ない高齢者の方々と、地域住民との交流の場です。民生委員さんや多くの方の協力で、昨年は約150人の参加で大盛況。警察官と地元参加者による寸劇



「ふれあいの集い」にて
伝統的地元踊りの輪が出来ました！

で「悪徳商法撃退」。昼食をはさみ「ハーモニカ演奏」で唱歌を全員で歌い、カラオケ、日本舞踊、三味線と大いに盛り上がり、極め付けは、客席のど真ん中に、伝統的地元踊りの輪が出来たこと。「かねては踊らんけど」そう笑って次々に踊りの輪の中に・・・思わず拍手喝さい、ふるさとの良さはここにあり！と感動。帰りはお互いに「また来年も会いませう」と笑顔でのお別れ。大先輩に学ぶ場でもありました。今年は11月28日の予定。また皆さんの笑顔を見せて下さい。

「ふるさと花植え大会」

東区地区では、地域を「心豊かで、ゴミの少ないきれいなまち」を目指して、花壇作りを進め、今年は4年目となります。まず宝満寺公園花壇の改修から始め、当初2カ所だった花壇も、現在9カ所になりました。今年も2カ所増やします。やり方は、ふるさとづくり委員会が花壇を作り、各花壇ごとに担当自治会を決め、年2回の花植え、その後の管理を行うことにしています。おかげさまで、雑草とゴミだらけの通りが清楚な花に代わり、地域がきれいになって、人の心を和ませてくれます。今年の花植えは6月5日でしたが、子どもたちも含め、約250人の参加がありました。各自治会の管理意識も深まってきたようです。「秋のふるさと花植え大会」も皆で協力して、いい汗を流しましょう。

(会長 酒匂 景二)

原田地区

社会福祉協議会

(有明町)

- ・人口総数 1,067名
- ・65歳以上の人口 307名
- ・高齢化率 28.8%

(平成22年4月1日現在)

私達、原田地区社協の活動を紹介します。

1、「二人暮らし高齢者の集い」

年に一回は、同じところに集まり、世間話をして近況報告をしたりと楽しい時間が作れる様になっています。地域のボランティアの方々の手伝いをいただき、カラオケや腹話術を披露したりしています。家で一人でご飯を食べている方々なのでお昼ご飯をみんなで食べるおいしいと言っています。



出来上がったら、お茶でも飲もうかね。

2、「地域運動会の参加の呼びかけ」

気分転換や孤独死を防ぐ観点からも、高齢者夫婦世帯や一人暮らし高齢者が家に閉じこもらないように、地域で行われる運動会に参加を呼び掛けています。ご自身のお孫さんぐらいの子供が元気いっぱい走り回っている姿を見て笑顔になっているのを見ると、こちらも嬉しくなってきます。

75歳以上は弁当を無料で配布し、多くの方が交流出来る空間を作り出していき、これからも高齢者の方が家にこもらないような活動を行なっていきたいと思っています。

(会長 大原 繁)



若い頃の歌が一番よか～！

平成22年度

志布志市金婚式開催案内

志布志市社会福祉協議会主催、志布志市共催により結婚五十周年を迎えられた方々のねぎらいとご多幸をお祝いする金婚式を開催いたします。

金婚者の条件は次のとおりです。で、該当されるご夫婦の方々は必ずご連絡をお願いいたします。

連絡を頂きましたら、後日事務局より案内をさせていただきます。そして、案内に同封します返信用ハガキにて金婚式出席か欠席かのご返事をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

※返信用ハガキにて、金婚式欠席のハガキ提出がないまま、当日出席することが無いよう、お気をつけ下さい。

【金婚者の条件】

昭和35年1月1日～12月31日までの間に婚姻され、50年目の方々と、夫婦とも健在の方々が該当します。再婚された方は、再婚してから年数になり、通年の年数ではありません。ただし、昨年度までの該当者で届出されなかった方も含みます。

○該当者申込締切

・10月15日(金)まで

○金婚式開催日

・11月19日(金)

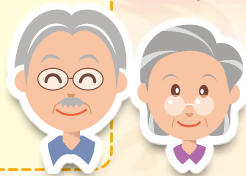
○場所

・ボルベリアダグリ
(志布志町)

□お申込み先 志布志市社会福祉協議会

- 志布志本所(市健康ふれあいプラザ内)
志布志町志布志3222-1
TEL 472-1800
- 松山支所(市老人福祉センター内)
松山町新橋268
TEL 487-2001
- 有明支所(市市民センター内)
有明町野井倉1767
TEL 474-0310

※各地域福祉係まで



第10回 共同募金

チャリティゴルフ大会

参加者募集!

第10回目となる共同募金チャリティゴルフ大会を左記により開催いたします。チームもしくは個人でのお申込みをお待ちしております。

1 主催

共同募金会志布志市支会
志布志市社会福祉協議会

2 期日

平成22年10月30日(土)

3 場所

大隅カントリークラブ(大崎町)

4 参加料

一人当たり1,500円(内500円を共同募金へ) 別途プレー料が必要です。(キャディ付き9,000円、セルフ7,000円 共に税込みで昼食・1ドリンク付き)

5 表彰式

全員のプレー終了後、クラブハウス2階にて行います。
・個人・グロス優勝1名 ネット優勝、準優勝、3位、飛賞、ブービー賞、敢闘賞、ドラゴン、ニアピン、他

6 競技方法

- 18ホールズ ストロークプレー
- ・参加者全員によるダブルペリア方式(HC 36で打ち切り)
- ・当日のルールはゴルフ場のローカル・ルールを適用
- ・ネット同数の場合、入賞順位の決定は高年齢順、ローハンディ
- ・ノータッチプレー

7 チャリティホール

シヨートホールにチャリティホールを設

けますので、該当された方は、500円以上の募金をお願いいたします。

8 申込方法

団体で参加される場合にお仲間うちで一緒にプレーを楽しんでいただくため、組数(4人1組)による申込みを受け付けます。但し、3人以下または個人で参加される場合は、他の方と一緒にプレーをしていただきますのでご了承ください。

申込みは、参加申込書(志布志市社会福祉協議会のホームページからダウンロード可)へ参加される方のお名前と参加組数(4人1組)を明記の上、下記までご持参、郵送またはFaxにてお知らせ下さい。

9 申込締切

平成22年10月12日(火)必着(Fax可) ただし、受付組数が40組をこえた場合はその時点で締め切りとさせていただきます。

10 スタート時間

スタート時間が決まり次第、個人申込者及びチームリーダーの方のみへお知らせいたします。チームリーダーの方はメンバーの方への周知方をお願いいたします。

11 お申込先

志布志市社会福祉協議会 本所
志布志町志布志3222-1
(健康ふれあいプラザ内)
TEL 472-1800
Fax 472-11593
担当: 地域福祉係 山下



皆様の善意に 感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお
礼にかえて市社会福祉協議会
にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し
上げ故人のご冥福をお祈り申
し上げます。頂きましたご寄
附は、志布志市の地域福祉向
上のために有意義に活用させ
ていただきます。

(平成22年7月1日から
平成22年8月31日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名
(敬称略)

志布志地区

町原	西平春雄	故平野ヨシ
毛穴野	田吹ヨシ子	故安雄
中學校通り	重信妙子	故久雄
安良	假屋サツ子	故勝郎
清水	有川幸美	故稔
池野	池村スミエ	故功
上天神	中野浜美	故義博
大浜	蛇穴義雄	故フミ
東夏井	鈴木フジ子	故員司
新三丁目	川畑満里子	故惠永
下宮内	関野進一	故ススム
南高吉	日高シズエ	故國隆
町原	柳 三男	故サエ
実黒三	入田正子	故田畑明子
町原	加世田昭彦	故サイ
平山	山中良幸	故ユキ子

有明地区

海陽団地	川住静子	故ナリ
南高吉	城口スズ子	故正吉
東町団地	松元節子	故茅野アキエ
上門	上田通夫	故トミ
平和	平原辰守	故フミ子
中宮	貴島スミ	故徳次郎
安良	城之園信俊	故ナミ
西夏井	盛田實幸	故スズエ
清水	東 敏徳	故絹代
西夏井	西美代子	故照光
天神	鹿島美保子	故松本ルエ
大性院	玉利愛徳	故スミ子
下志志	神戸 工	故フミカ
下志志	永利義裕	故スミエ
下志志	北山スミエ	故泉

松山地区

中肆部合	平野イチ子	故千義
西中野	中原義文	故義實
東山之口	中山秀一	故安江
馬場	深江美子	故一徳
下宇都鼻	平原幸春	故シナ
押切西	坂井愛幸	故キミエ
下馬場	徳脇敏光	故米
西吉村	吉岡正三	故ミカ
下野井倉	野口明郎	故國忠
通山	武田明美	故島濱通生
中方限	井手上善昭	故茂

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の
方々より市社会福祉協議会に
ご寄附を頂きました。
地域福祉向上のために有意
義に活用させていただきます。
ありがとうございます。

志布志地区

・曾於市 匿名
100,000円
・スーパーぬきさこヌック店
3,000円

日本赤十字社 鹿児島県支部 支部長感謝状授章

今回、日本赤十字社鹿児島
県支部より、社資協力者の
「株式会社堀口園」様が日本
赤十字社有功章社員章等贈
与規則により、「支部長
感謝状」が贈られました。
「株式会社堀口園」様は、
有明町蓬原にあり、産地茶間
屋として永年に渡り、ご尽力
されております。

『ぶくし川柳』 募集します。

志布志市社会福祉協議会
では、新コーナーとして、今以上
に幅広い年齢層の市民に福
祉を身近に感じてもらう、
広く福祉に興味を持つて頂
きたく、募集致します。
つきましては、左記に募集
要項と参考に例として、
広報委員の有馬ケイ子さんの
川柳作品を掲載します。

○例
『急つかい やみ夜の風に
のつくろ』

応募方法

・氏名又はペンネーム、
町名を記入
・一人一作品まで
・ハガキ、郵送、FAX、
Eメール
※電話による応募は致
しません。

応募締切

平成22年10月15日(金)まで
○掲載について
・平成22年11月26日発行
「ささえあい」第29号に
掲載予定

**志布志市
社会福祉協議会**
(志布志市健康ふれあいプラザ内)
〒899-7103
志布志町志布志 3222-1
TEL: 472-1800
FAX: 472-1593
E-mail: info@shibushi-syakyo.jp

心配ごとがありましたら…

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

10月・11月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、
お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

- : 志布志地区 472-1800
(健康ふれあいプラザ内)
- : 松山地区 487-2001
(老人福祉センター内)
- : 有明地区 474-0310
(市民センター内)

相談時間

10:00～15:00

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

※日程は変更になる場合があります。右記までお気軽にお問合せ下さい。